



# 「理想＋効果の可視化」が 外部支援・協働の鍵となる

一般社団法人 りぷらす



代表理事/理学療法士  
橋本 大吾さん  
はしもと だいご

震災後、高齢者のデイサービスと障害福祉の拠点を石巻と登米の2箇所に構え、地域における健康づくり・介護予防に向けた様々な取り組みを行っています。

埼玉県に住んでいた代表の橋本大吾さんは、震災後の5月に宮城県にボランティアに来て、その後リハビリ系のボランティア団体を有志で立ち上げ、12月に石巻市に移住しました。仮設住宅での支援事業に携わる中で、震災による生活環境の変化が高齢者にもたらす影響の大きさを痛感し、ボランティアではなく事業としてそうした人々を支える仕組みを作りたいと思い、2013年1月に一般社団法人りぷらすを立ち上げました。現在は、理学療法士や作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、看護師、保育士といった専門家としてのバックグラウンドを持つ仲間と共に、これまでにない持続可能な地域に向けた様々なチャレンジをしています。

## 石巻市が日本の課題先進地

震災後の被災地域の多くは、介護が必要な高齢者の増加率が高まりました。事務所を構える旧河北町飯野川は市中心部とはまた違った状況がありますが、高齢化が急速に進むこの石巻市を、これから日本が直面する課題の先進地と捉え、良いモデルを作ることによって日本のみならず世界に解決の可能性を示すことができるのではないかと、事業に取り組んできました。

橋本さんは、既存の介護保険は状態が悪くなっていくことによって収入が増え、事業者に改善のインセンティブが働きにくい、質の高いサービスを受けることによって「改善・卒業」への流れも作る事ができると考え、様々なサービスを展開しつつ、介護状態の改善、また、予防のための新たな事業の在り方を模索しています。

## 企業や大学との共同研究が活動の根拠に

2016年5月から10ヶ月間、花王株式会社と石巻専修大学人間学部と一緒に「地域での継続した健康づくりの実現」というテーマで共同研究に取り組みました。以前より独自で取り組んでいた、コミュニティづくりや健康づくりの担い手となるボランティア向けの勉強会「おたがいからだづくりサポーター（おたからサポーター）養成講座」の参加者を対象に、身体組成と健康意識の変化を効果検証する共同研究です。花王はこれまでの研究知見をもとに内臓脂肪測定器や歩行解析システムなどのツールを提供し、石巻専修大学は石巻地域における健康度要因調査研究の知見から測定結果を分析するといった形で効果検証を進めました。

この共同研究により、専門家のサポートを受けなが



▲花王株式会社と石巻専修大学との共同研究の様子

ら「サービスの質や必要性」を実証するための数値を得ることができました。これにより、石巻市における予防医療効果や予防介護効果の一つの指標として提示できるようになっています。

設立当初より、助成金、相談、組織づくりなど様々な外部支援を受けることができていますが、常に支援が終わった後の継続の在り方を設計し、それらの実証に向けて真摯に取り組み、客観的指標を示すことにこだわり続けてきたことが、外部からのサポートの継続につながってきていると言えます。

## 担い手としての出番が、 「生きる自信や誇り」を再生する

コミュニティづくりや健康づくりの担い手となるボランティア向けの勉強会「おたからサポーター養成講座」を2014年9月から開始しています。「健康寿命を延伸するためには自らコミュニティと健康づくりを担う住民が必要」との思いから独自の認定制度を作り、外部資金を活用して実施しています。現在、体操教室の運営ができる2級取得者は6名、自分に合った体操ができる3級取得者は87名となり、そうした資格取得者が主体となった体操教室の実施数は年間114箇所にのぼり、参加者は1,200名まで増えています。最初は体操教室のいち参加者だった人が、自ら担い手となったサポーターの自主団体も生まれ、輪は年々広がり続けています。

震災後、要介護者の増加率が高くなっている背景として、「高齢者が役割を失ってしまった」ということが挙げられます。働く場所や身近な誰かを支える機会、ありがとうと言ってもらえる機会、継続的に交流する機会などが少なくなり、目の前の現実の厳しさも相まって、自己肯定感が低くなってしまっていると言われています。そうした地域の人々にとって、この取り組みは社会とのつながりを生み出し、体操を覚えるこ

とによって誰かを支えることができる、貢献できるきっかけになっています。関わる住民自身に自助力と互助力の両方が生まれ、気持ちの通った仲間の輪として良い循環を作っていると言えるでしょう。

## 理想だけではなく、 戦いの場を決めるという戦略

制度の隙間で困っている人を助けるサービスや仕組みを事業として成り立たせること。決して、介護保険制度だけに留まってはいけない、と橋本さんは言います。実際、経営面からいえば、介護保険制度の中でのサービスを提供していくことで利益を出していくことができますが、とすれば、本来の目的を見失いかねません。「そこに住む人が豊かに、幸せに暮らし続けていくための自助力と互助力を生み出せる仕組みや仕掛け」を備えることによって、持続可能な地域への期待を持てるということにつながるのです。

法人6期目の2017年より、デイサービスは利用者の「卒業」に向けた取り組みを強化しています。2015年に開所したスタジオぶらす登米では、開所から現在までに10名がデイサービスを卒業しました。要介護から要支援状態へと改善し、それぞれが利用開始時に掲げた目標達成とともに新たな生活への一歩を踏み出しています。次に求められる必要なサービスは「デイサービスを卒業した方々の社会参加を見据えたサポート」であると考え、さらなるチャレンジに向かっていきます。



▲スタジオぶらす登米の様子

## 一般社団法人 りぷらす

<問合せ先>  
〒986-0101 石巻市相野谷字今泉前 29-3  
TEL▶0225-98-8957 FAX▶0225-98-8958  
E-mail▶ri.link.plus@gmail.com  
URL▶http://rilink.is-mine.net/